

カトリック調布教会 月刊 ● シャローム

2017年10月号

No.218

SHALOM

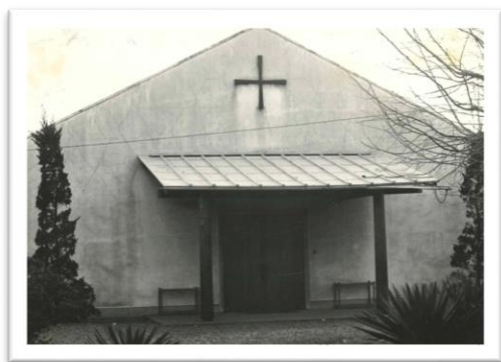
2017年9月24日発行

10月

私たちの教会が

50周年を迎えます。

● 50周年記念ミサ 2017年10月1日(日) 11時 岡田大司教司式



教会の「売り」は何ですか

辻家 直樹 神父

チマッティ神父時代のサレジオ・調布教会の写真を見ると、子どもが溢れている（ここでは調布教会とサレジオを区別しないで書かせていただきます。そしてここでいう「子どもたち」とは未信者も含めた子どもたちです）。1950年代のテレビもなかった時代、チマッティ神父のピアノ、神学生たちの歌、演劇、手品、小話、ゲーム大会、どれもものすごい魅力だったに違いない。当時調布教会・サレジオに来ていた子どもたちはどんなに幸せだったことだろう。写真を見ると、子どもたちの目は皆輝いている。しかし、その目にはただ娯楽で満たされただけではない深い平安と希望を伴った輝きを感じられる。

それから時代は確実に変わっていった。しかし、調布教会・サレジオは相変わらず子どもたちをひきつけ続けた。私が神学生だった時代（15年前）もここは子どもたちが溢れていた。ニーズは変わったのに、なぜだろう。教会にはやはり子どもたちやその家族を引き付ける何かがある。それは娯楽や遊びといった表面的な魅力のみではないものがやはりあるからだろう。

ところが数年前、壁にぶつかった。新しく日曜学校・サレジオに来てくれる子どもたちの数が減ってきたのだ。リーダーたちで知恵を出し合った。どうすれば教会に足を運んでくれるのか。ニーズは何か。調布教会・サレジオの魅力は何か。なんで子どもたちは来てくれていたのか。これまで、少なくとも私は、こんな問いを発したことはなかった。初めて



「自分たち（教会）は何者か」と考え始めた。今は世の中に子どもたちのための習い事がたくさんある。親の目から見たら、サレジオもその一つなのかもしれない。「ここでは何を身につけさせてくれますか？」と問われている気がした。つまり、「教会（調布教会・サレジオ）の『売り』は何か」である。以前は、教会・サレジオでは他では味わえない娯楽が提供できていた部分があったかもしれない。また、スポーツが売りだっ

た部分があったかもしれない。しかし、今は娯楽なら世にあふれている。スポーツ教室もたくさんある。教会で演劇の指導をしたらどうかという意見もあった。神学生たちにその指導ができる技術を身につけさせてはどうか、と。しかし私は何か違和感を感じていた。私たちはあくまでもキリスト教教育が「売り」なはずだ。しかし、宗教を前面に出すと警戒されるんじゃないか、という懸念の声もあがった。それからリーダー、青少年司牧のスタッフで自分たちのアイデンティティを問い続け、アイデアを出し、実行し、深め、そして少しずつ再び新たな実を結び始めた。

今年の一学期、ポリビアで宣教師として活動しておられる、お話の上手な倉橋神父さんが帰国され、せっかくの機会だったので、子どもミサの説教をやっていただいた。その日はちょうど年長さんたちを日曜学校に招いた日であった。倉橋神父さんはこんなことをおっしゃっていた。「日曜学校に通ってもお金持ちになることは教わりません。それだったら他に行ってください。日曜学校は心が育てられるところです」。自分の中で「ストーン」と落ちた。「あ、そうだった」と思った。私たちにとって大切なことは、イエスの言っていたことに立ち返ることだ。イエスが見ていたのは心だ。形や知識、テクニックではなく、心が神様に向かっていること、他の人への愛に向かっていること、そこにイエスは注目していた。チマッティ神父も、貴重なことをたくさんやられたが、それは手段に過ぎない。彼のやったことはすべて神と人への愛の業であり、子どもたちの心をそこに向けて育てていくことだった。つまり、大きな心、愛の心を持って関わり、子どもたちの中にもその心を育てることである。

ドン・ボスコが口癖のように子どもたち一人一人によく言っていた言葉がある。「元気かい？心も元気？」という言葉だ。ただ気分がいいとか調子がいいということだけではなく、心が元気かどうか、それをドン・ボスコは大切にしていた。心が元気というのには、2つの意味があると思う。一つは神様を大切にしているかどうかという



こと。心は神様につながるところであり、そこが元気かどうかは、神様を心にお迎えしているかどうかということだ。神様から大切にされていることを知っている、神様からエネルギーをもらっている心が元気な状態だ。そして、心が元気ということの第二の意味は、他の人を大切にすること、思いやりの心だ。

調布教会・サレジオは、これからも、子どもたちが神様とつながり、神様からエネルギーをもらえる場所であり続けたい。また、思いやりのある広い心を育てる場所であり続けたい。子どもたちと共に歩みながら、子どもたちと一緒に成長していく教会でありたいと思う。



典礼こぼれ話（2）

年間主日より優先される祝祭日

教会は、復活祭を中心に一年の周期で主キリストの救いのわざを記念しています。その中で「年間」は、1月の「主の洗礼」の週から始まり、四旬節（46日間）・復活節（50日間）でいったん中断しますが、「聖霊降臨の主日」の週から再開し11月の「王であるキリスト」の週まで、全部で33週または34週あります。年間主日は、主キリストが神の国について教えられたことを思い起こす機会となっています。

主日は根源の祝日と呼ばれますので、年間主日も主キリストの復活を祝う大事な日です。ただし、今年の8月6日には「年間第18主日」ではなく「主の変容」をお祝いしたように、特定の祝祭日が日曜日にあたり、年間主日に重なった（以下「競合」と表す）場合、年間主日より優先して祝祭日を祝うことがあります。

つまり典礼日にも「優先順位」が決まっています。それが次の表です。

典礼日の優先順位表（「典礼暦年に関する一般原則」より）

順位	典礼日
1	聖なる過越の3日間
2	主の降誕、主の公現、主の昇天、聖霊降臨 待降節・四旬節・復活節の主日、灰の水曜日 聖週間の週日（月～木）、復活の8日間
3	一般暦に記載されている <u>主の祭日</u> 。聖母と聖人の祭日、死者の日
4	固有の祭日（詳細は省略）
5	一般暦に記載されている <u>主の祝日</u>
6	降誕節の主日と年間主日
7～	（以下省略）

*下線は執筆者

典礼日が競合するときは、順位が上位の典礼日を祝い、下位の典礼日は移動をするかその年にはなくなります。年間主日は上記の順位表の6ですので、それより上位となる順位3（主の祭日・聖母と聖人の祭日・死者の日）または順位5（主の祝日）が年間主日と競合する場合、上位の祝祭日を優先して祝うこととなります。

年間主日より優先される祝祭日

該当する祝祭日は、右の「年間主日より優先される祝祭日」の通りです。暦の関係で5年から6年に一回、日曜日にまわってくるようになります。日曜日のミサに参加される方にとって、これらの祝祭日は特別感があるでしょう。

今後の予定ですが、来年の2018年は「洗礼者聖ヨハネの誕生」、2019年はなし、2020年には「主の奉献」「諸聖人」を、日曜日に祝うこととなります。

月日	典礼日
2月2日	主の奉献（祝日）
6月24日	洗礼者聖ヨハネの誕生（祭日）
6月29日	聖ペトロ・聖パウロ使徒（祭日）
8月6日	主の変容（祝日）
8月15日	聖母の被昇天（祭日）
9月14日	十字架称賛（祝日）
11月1日	諸聖人（祭日）
11月2日	死者の日
11月9日	ラテラン教会の献堂（祝日）

なお、競合した日の年間主日はその年にはなくなります。主日の聖書朗読の周期は3年ですので、同じ朗読の主日は3年後までまわってきません。

ところで、「年間主日より優先される祝祭日」には当たり年があります。「主の奉献」「聖ペトロ・聖パウロ使徒」「十字架称賛」「死者の日」「ラテラン教会の献堂」は、（うるう年でない年には）同じ曜日となるため、当たり年には年間主日より優先して祝う祭日が目白押しとなります。近年では2014年が当たり年でしたが、次の2020年はうるう年で曜日が2つ進むため日曜日にはなりません。次の当たり年は2025年までお預けとなっています。

さて、日曜日には年間主日より優先される「洗礼者聖ヨハネの誕生」と「聖ペトロ・聖パウロ使徒」ですが、「イエスのみ心」祭日(注)が競合したときには、「洗礼者聖ヨハネの誕生」と「聖ペトロ・聖パウロ使徒」の方が日を移動して譲ることになっています。その二つの聖人の祭日は、前晩の典礼もあるほど聖人の祭日としては最強といえますが、主の祭日（イエスのみ心）の方が上位なので「勝てない」ということなのです。面白いですね。

(注)「イエスのみ心」は移動祭日で、「キリストの聖体」の週の金曜日に祝います。今年は6月23日でした。2022年には「イエスのみ心」が6月24日となり、「洗礼者聖ヨハネの誕生」が移動する予定です。

(典礼奉仕会 今田潔)

2017年 10月 行事予定

日	曜日	ミサ時間	ミサ時間			予 定	時間	部屋
			8:00	9:15	10:30			
10月1日	日	年間第26主日	○	なし	11時	ミサ 50周年記念ミサ・祝賀会	8:00 11:00	教会聖堂 聖堂・DBホール
2月	守護の天使							
3火						「ラウダート・シ」を読む (Sr.嶋崎) 手芸の会	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
4水	聖フランシスコ・アシジ					入門講座 (Sr.嶋崎)	10:00	ヨゼフ会室
5木						Lectio Divina (Sr.秋山)	10:00	ヨゼフ会室
6金						初金ミサ	10:30	小聖堂
7土	ロザリオの聖母					掃除当番 8地区 ミサ	10:00 19:00	小聖堂
8日	年間第27主日	○	なし	○		ミサ 教会委員会 English Mass	9:15 14:30	教会聖堂 マリア会室 教会聖堂
9月								
10火						Lectio Divina (Sr.嶋崎) 手芸の会	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
11水						入門講座 (Sr.嶋崎) 通読しながら聖書を味わう会 (Sr.秋山)	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
12木								
13金								
14土						掃除当番 1地区 English Bible Class (Mr.ウィリアムス) ミサ	10:00 16:00 19:00	マリア会室 小聖堂
15日	年間第28主日	○	○	○		ミサ マリア会定例会	9:00	教会聖堂 マリア会室
16月								
17火						「ラウダート・シ」を読む (Sr.嶋崎) 手芸の会	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
18水	聖ルカ福音記者					入門講座 (Sr.嶋崎)	10:00	ヨゼフ会室
19木						Lectio Divina (Sr.秋山)	10:00	ヨゼフ会室
20金						アンナとヨアキムの会	10:00	マリア会室
21土						掃除当番 2地区 ミサ	10:00 19:00	小聖堂
22日	年間第29主日	○	○	○		ミサ		教会聖堂
23月								
24火						Lectio Divina (Sr.嶋崎) 手芸の会	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
25水						入門講座 (Sr.嶋崎) 通読しながら聖書を味わう会 (Sr.秋山)	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
26木								
27金								
28土	聖シモン・ 聖ユダ使徒					掃除当番 3地区 English Bible Class (Mr.ウィリアムス) ミサ	10:00 16:00 19:00	マリア会室 小聖堂
29日	年間第30主日	○	なし	9:30		ミサ 教会大バザー	11:00	教会聖堂 サレジオ内
30月								
31火						Lectio Divina (Sr.嶋崎) 手芸の会	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室

主任司祭による入門講座は、適宜、個人的に行っています。